

報道関係者各位
プレスリリース



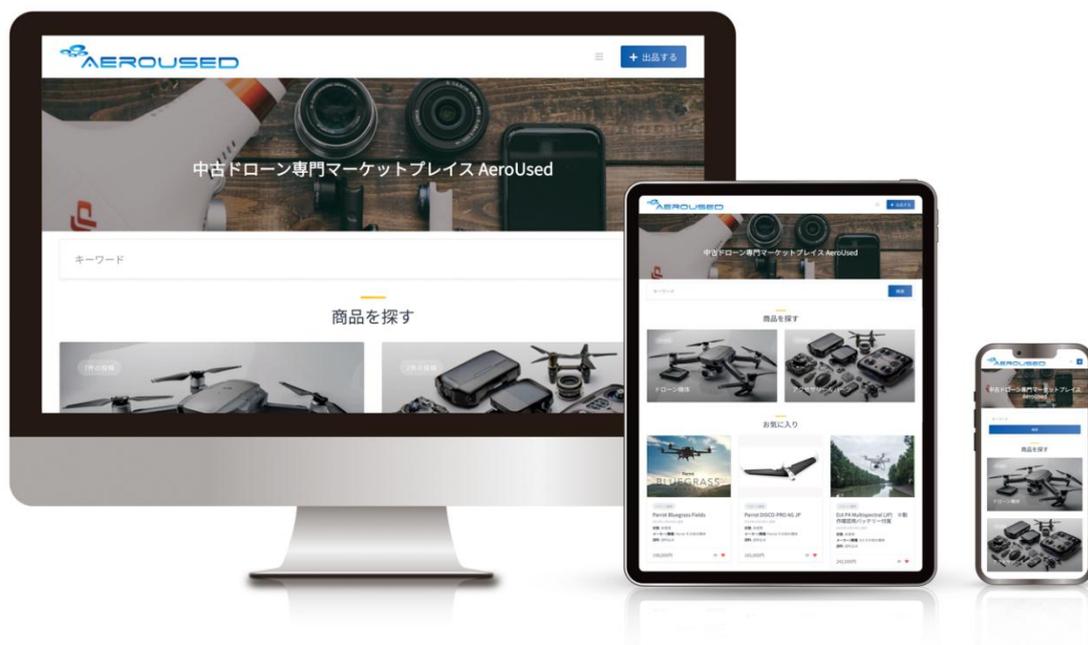
AIRMOBILITY

2025年1月29日
エアモビリティ株式会社

中古ドローン専用マーケットプレイス「AeroUsed」オープン

中古ドローン機体を取引できる場を提供

ここ数年ドローン市場の拡大が急速に進んでおり、国土交通省の発表によれば、昨年度の新規ドローン登録台数は約5万台となり、これに伴い累積登録台数も増加しております。このように市場が拡大されると、それに伴って中古ドローンの売買ニーズも高まってきます。エアモビリティ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長&CEO：浅井 尚）は、こうしたトレンドに対応するため、中古ドローンの売買に特化したマーケットプレイス「AeroUsed (<https://aeroused.jp/>)」を1月29日にオープンいたしました。



【「AeroUsed」立上げの背景】

当社は2023年5月に国内外の新品ドローン専用のECサイト「AeroBuy」を立ち上げました。その後、日本国内においてドローンの国家資格取得者も増え、従来専門性の高かったドローンの操縦者層はかなりすそ野も広がってきております。今後ますますドローン市場が拡大するためには、消費者が容易にドローンを手に入れることができる中古ドローンのマーケットプレイスが必要になると考えております。

現時点で、中古ドローン専用のマーケットプレイスは存在せず(当社調べ)、今回当社が提供する「AeroUsed」を日本初の中古ドローン専用マーケットプレイスとして有効活用頂ければと考えております。

中古ドローン市場は、当社想定で2027年には5万台を超える見通しです。当社は、「AeroUsed」を通して、中古ドローン市場の5%(2,500台/年)の取扱いを目指します。

【「AeroUsed」サービス概要】

- サイト URL : <https://aeroused.jp/>
- 主な機能 : 出品・検索・購入・決済・評価など
- 売買対象物 : ドローン機体、ドローンアクセサリ・パーツ類

【「AeroUsed」の特長】

「AeroUsed」は、利用者同士が直接ドローンの機体やアクセサリを売買できるマーケットプレイスです。

<購入者にとってのメリット>

- 旧型在庫を抱えているドローンメーカーや家電量販店等から出品いただくことで、新古品などの掘り出し物を購入することも可能
- 専用銀行口座の導入により、商品代金を支払ったにもかかわらず、商品が届かないといったリスクを削減
- 出品者に対する評価レビューも閲覧が可能
- 今後は中古機体の査定機能を実装予定

<出品者にとってのメリット>

- ドローンユーザーだけにアクセスするので効率的な取引成立をサポート
- データ入力等の出品サポートサービスも準備

【会社概要】

会社名 : エアモビリティ株式会社

事業内容 : 空飛ぶクルマおよび産業用ドローンの安心・安全な航行のためのプラットフォームを提供。海外の空飛ぶクルマ、ドローンの日本市場への参入支援のプラットフォームも構築。その他、海外機体メーカーと日本の部品メーカーのマッチングサイト「AeroMall (<https://aeromall.jp/>)」、産業用ドローンの販売サイト「AeroBuy (<https://aerobuy.jp/>)」を、構築・運営。

代表者 : 代表取締役社長 & CEO 浅井 尚

所在地 : 東京都港区赤坂 3-5-5 ストロング赤坂ビル 9F

URL : <https://airmobility.co.jp/>

【お問い合わせ先】

エアモビリティ株式会社 経営企画本部

TEL: 03-6273-1288

<https://airmobility.co.jp/contact/>